

🕮 幼 稚 園 だより2025

第7号 9月29日発行 高崎天使幼稚園

運動会

運動会の種目は、時代によって代わります。

高崎天使幼稚園もこの10年では、年長児の簡単なバトントワリングがダンスへ代 わり、コロナ蔓延時から、観覧席の密を避けるために2部制になりました。その時か ら、満3・3歳の部では親子で楽しめる親子ダンスを取り入れました。4・5歳の部 の準備体操では子どもが前に出て見本を示すようにして活躍の場を増やしました。こ こに誰が出るかも先生が決めるのではなく、希望をとっています。普段前へ出たがら ないと感じる子が、希望することもあります。5歳児は全員リレーと選抜リレーがあ りました。全員リレーは、子どもたちが毎日工夫していました。例えば、走る順を替 えて、途中であまり差がつかないようにしたり、車いす利用の子やゆっくり走る子が 参加したときも、同じ場所でバトンを渡すのでなく、みんなで話し合って本人も友達 も納得する距離に変更していました。子どもたちが考えて工夫して競うリレーがある ので、選抜リレーの在り方を考えた時に選抜リレーをやめました。

このように、親子で楽しむ種目や子どもたちが考えたり工夫したりすることのでき る種目を取り入れるようになりました。

今年は、5歳児の組立体操が玉入れに代わる予定です。

玉入れは、以前は祖父母競技として行われていましたが、コロナの影響で消えてい ました。今年の玉入れを見ていると、練習というより玉入れあそびという感覚で、そ のなかでいっぱい入れたいと投げ方の工夫をする姿が見られます。数を競うので盛り 上がりますが、個人競技ではないので負けてもその場限りの悔しさですぐ回復しそう です。組立体操は、当日まで練習させられているという感じの顔も多く、この何年か の課題でした。

今後も、みんなで楽しむ運動会活動を計画し、その中で子どもたちが友だちを思い やり本人も納得する方策を話し合って見つけていくようにして、運動能力だけでなく 心の成長もある運動会に近づいて欲しいと願っています。

夏の猛暑が9月まで続く近年、9月に行っていた運動会を10月に移しました。 このため、2学期の遠足、七五三、思い出遠足(さくら組)、クリスマス会の実施日 の間隔が狭くなりました。行事のねらいと子どもたちの満足度を総合的に見直す時期 になってきたとも感じています。

連 絡

☆ 七五三式(11月14日)

うめ・もも・さくら組は、高崎カトリック教会でお祝いしていただきます。

☆ 思い出遠足(11月21日)

さくら組が上野動物園に出かけます。お泊り保育で経験したグループ活動をします。前回に比べ先生は指示を少なくして、事前に子どもたちが決めた動物を見て回ります。事前の活動も当日も、友だちの意見を聴く・自分の考えを言うなどの経験が求められます。

この経験が、小学校で生かされるように毎年願っています。

細かな課題として毎年あげられるのが、エスカレーターに乗ること、トイレで 男児はズボンを下ろさず使える・女児は和式も使えることです。これらは、さく ら組になったらとお考えにならず、チャンスのある時に経験させてください。

☆ 十五夜 (10月5日)

ご家庭で楽しんでいただきたいのが、十五夜です。まん丸の月を見て、親子で どんなお話をしますか。ロマンチックな時間を過ごしてください。ウサギがもち をついている話などは遠い昔でしょうか。月見団子も楽しみですね。

ちなみに、今年の十三夜は、11月2日です。

☆ 群馬県民の日(10月28日)

前号の予定表には載せていませんでした。この日は、小中学校がお休みで、1 号子どももお休みです。県民の日制定時から、大人の職場は休みではありませんでしたが、県外の某遊園地では「群馬県民の日」と銘打って割引がありました。

当時と比べご両親が働いている割合が多くなった現在も、群馬県民の日の仕組はそのままのようで、県内施設ではイベントが開催されるところがあります。

高崎天使幼稚園は夏休みと同じ扱いにしています。

☆ 美心祭(10月26日)

黒沢病院の美心祭に参加要請がありました。詳細が分かりましたらお知らせ

し、さくら・もも組の中から を加者を募ります。

預かり保育の無い日

10月18日11月21日

午前保育

10月17日

11月の予定		
5	木	防災訓練③
14	金	七五三
21	金	思い出遠足 (さくら組)
		1号こども休園 2・3号通常
28	金	誕生会